

(仮称) 荻窪駅周辺都市総合交通戦略 (案) の修正一覧

No.	頁	交通戦略 (案)	修正内容	修正理由
2章 荻窪駅周辺の交通環境の現状と課題				
1	10	<p>(2) 区の人口推計</p> <p>・区の人口は、平成40年代中頃をピークに、その後人口減少に転じることが推計されています。高齢化は、平成30年以降緩やかに進むことが推計されています。</p> <p>図12：区の将来人口推計 (人)</p> <p>【出典】：『杉並区総合計画・実行計画』(平成31年度、杉並区)(改定中、必要に応じて修正)</p>	<p>(2) 区の人口推計</p> <p>・区の人口は、平成40年代中頃をピークに、その後人口減少に転じることが推計されています。高齢化は、平成30年以降緩やかに進むことが推計されています。</p> <p>図12：区の将来人口推計 (人)</p> <p>【出典】：『杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成31年度～33年度)(2019年度～2021年度)』(平成30年度改定、杉並区)</p>	誤記の修正及び最新の数値に更新
2	31	<p>(2) 地域資源等の回遊性</p> <p>1) 駅や駅前広場における案内・誘導</p> <p>②案内・誘導(駅構内)</p> <p>写真8：東京メトロ改札前の誘導サインと案内図</p> <p>写真10：南口出口への誘導サイン</p>	<p>(2) 地域資源等の回遊性</p> <p>1) 駅や駅前広場における案内・誘導</p> <p>②案内・誘導(駅構内)</p> <p>写真8：東京メトロ改札前の出口誘導標と案内図</p> <p>写真10：南口出口への出口誘導標</p>	適切な記述に修正
3	44	<p>2) 災害時の対応</p> <p>・「災害時に来街者の一時滞留空間となるような広場・オープンスペースが不足している状況」との意見があります。</p> <p>・鉄道事業者の対応は以下のとおりです。</p> <p>「鉄道の復旧を最優先にしつつ、駅構内の安全確認の結果を踏まえたうえで、一時的な滞在場所として、『一時滞在場所』(行政機関が指定する『一時滞在施設』へ移動するまでの一時的な利用者の滞在場所)を案内する。」</p> <p>「災害時、駅外部の状況が把握できる</p>	(45 ページへ移動)	よりわかりやすい掲載順序に修正

		<p>まで、原則として駅構内の旅客を、構内で最も安全と思われる一定の箇所にとどめる。地下より地上が安全であると認めるときは、あらかじめ指定された広域避難場所を旅客に周知し、その方向の出入口に誘導する。地上より地下が安全であると認めるときは、構内で最も安全と思われる場所であり、かつ、地上への緊急避難に有効な場所を選んで、誘導する。その後、地上の安全が確認された場合、あらかじめ指定された広域避難場所の方向の出入口に誘導する。」</p>		
4	45	<p>図 44：荻窪駅構内バリアフリー整備状況図</p> <p>【出典】：『らくらくおでかけネット』（交通エコロジー・モビリティ財団）</p>	<p>2) 災害時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害時に来街者の一時滞留空間となるような広場・オープンスペースが不足している状況」との意見があります。</li> <li>・鉄道事業者の対応は以下のとおりです。</li> </ul> <p>「鉄道の復旧を最優先にしつつ、駅構内の安全確認の結果を踏まえ、一時的な滞在場所として、『一時滞在場所』（行政機関が指定する『一時滞在施設』へ移動するまでの一時的な利用者の滞在場所）を案内する。」</p> <p>「災害時、駅外部の状況が把握できるまで、原則として駅構内の旅客を、構内で最も安全と思われる一定の箇所にとどめる。地下より地上が安全であると認めるときは、あらかじめ指定された広域避難場所を旅客に周知し、その方向の出入口に誘導する。地上より地下が安全であると認めるときは、構内で最も安全と思われる場所であり、かつ、地上への緊急避難に有効な場所を選んで、誘導する。その後、地上の安全が確認された場合、あらかじめ指定された広域避難場所の方向の出入口に誘導する。」</p> <p>コラム：防災訓練について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の際の教訓を踏まえ、平成 25 年 7 月に鉄道事業者、駅周</li> </ul>	<p>よりわかりやすい掲載順序に修正</p>

			<p>辺の事業者及び地域関係者等が構成員となり設置された「荻窪駅前滞留者対策連絡会」と区が中心となって、帰宅困難者の発生を想定した訓練の実施などに取り組んでいます。</p> <p>写真 22 : 「荻窪駅前滞留者対策連絡会」の訓練の様子</p>																																	
5	46	<p>コラム：防災訓練について</p> <p>・東日本大震災の際の教訓を踏まえ、平成 25 年 7 月に鉄道事業者、駅周辺の事業者及び地域関係者等が構成員となり設置された「荻窪駅前滞留者対策連絡会」と区が中心となって、帰宅困難者の発生を想定した訓練の実施などに取り組んでいます。</p> <p>写真 22 : 「荻窪駅前滞留者対策連絡会」の訓練の様子</p>	<p>図 44 : 荻窪駅構内バリアフリー整備状況図</p> <p>【出典】：『らくらくおでかけネット』（交通エコロジー・モビリティ財団）</p>	よりわかりやすい掲載順序に修正																																
6 章 都市総合交通戦略の評価と推進管理体制																																				
6	105	<p>1. 評価指標</p> <p>〈 評価指標の現状値と目標値 〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="4">現状値（直近4カ年）</th> <th rowspan="2">目標値 (平成 40 年度) (2028 年度)</th> </tr> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荻窪駅の 1 日平均乗降人員 (人) *1</td> <td>257,975 人</td> <td>262,047 人</td> <td>267,460 人</td> <td>—</td> <td><b>297,000 人 を上回る値</b></td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値（直近4カ年）				目標値 (平成 40 年度) (2028 年度)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	荻窪駅の 1 日平均乗降人員 (人) *1	257,975 人	262,047 人	267,460 人	—	<b>297,000 人 を上回る値</b>	<p>1. 評価指標</p> <p>〈 評価指標の現状値と目標値 〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="4">現状値（直近4カ年）</th> <th rowspan="2">目標値 (平成 40 年度) (2028 年度)</th> </tr> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荻窪駅の 1 日平均乗降人員 (人) *1</td> <td>257,975 人</td> <td>262,047 人</td> <td>267,460 人</td> <td>—</td> <td><b>298,000 人 を上回る値</b></td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値（直近4カ年）				目標値 (平成 40 年度) (2028 年度)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	荻窪駅の 1 日平均乗降人員 (人) *1	257,975 人	262,047 人	267,460 人	—	<b>298,000 人 を上回る値</b>	最新の数値に更新
指標	現状値（直近4カ年）				目標値 (平成 40 年度) (2028 年度)																															
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度																																
荻窪駅の 1 日平均乗降人員 (人) *1	257,975 人	262,047 人	267,460 人	—	<b>297,000 人 を上回る値</b>																															
指標	現状値（直近4カ年）				目標値 (平成 40 年度) (2028 年度)																															
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度																																
荻窪駅の 1 日平均乗降人員 (人) *1	257,975 人	262,047 人	267,460 人	—	<b>298,000 人 を上回る値</b>																															
【用語解説】																																				
7	111	(記載なし)	<p>クールスポット (P66、67、92、94、99)</p> <p>クールスポットとは、微細ミスト設備等の暑さ対策が施され、涼しさを感じることのできる場所のことです。</p> <p>シェアリングエコノミー (P66、80)</p> <p>シェアリングエコノミーとは、個人等が所有する活用可能な資産等を、インターネットを介して、他の個人等も利用可能とする経済活性化活動のことです。一例として、自宅の駐車場等を、仲介業者のインターネットを活用して、駐車場を借りたい人に有料で貸し出すことなどがあります。</p>	用語解説に「クールスポット」、「シェアリングエコノミー」について追記																																

※その他、若干の文言修正あり